

美術館から都市へー発信する美術館

2018年2月2日（金）13:30—18:00

早稲田大学戸山キャンパス（東京都新宿区 戸山1-24-1）

33号館第11会議室

■ 挨拶・趣旨説明

・ 13:30—13:45

長田攻一（都市と美術研究所顧問）

坂上桂子（都市と美術研究所所長）

■ 講演

・ 13:45—14:15

篠原資明（高松市美術館館長）

「創造都市における芸術 — 高松市美術館の試み」

・ 14:15—14:45

高橋明也（三菱一号館美術館館長）

「三菱一号館美術館の試み — 再生建築から新しい美術館へ」

・ 14:45—15:15

富田章（東京ステーションギャラリー館長）

「世界—アクセスのいい美術館 東京ステーションギャラリーとその戦略」

～休憩～

・ 15:45—16:15

マライエ・ヤンセン（アムステルダム国立美術館研究員）

「コイペルスへの回帰 — アムステルダム国立美術館の1885年から現在まで」

・ 16:15—16:45

塚原史（早稲田大学會津八一記念博物館館長）

「會津八一記念博物館の課題と展望」

・ 17:00—18:00 全体討議

■ 懇親会

・ 19:00—

会費：5000円

会場：キャトル・フォンテーヌ

東京都新宿区早稲田鶴巻町 519 井筒屋ビル1F（TEL：03-3232-8555）

※シンポジウムに事前申し込みは不要です。

※ヤンセン氏は英語発表、他は日本語発表となり、通訳はありません。

※懇親会は参加自由です。

